

**GINZA KABUKIZA 歌舞伎座タワー
地下2階 木挽町広場 エスカレーター側面壁**

<KABUKIアドボード>

－広告媒体資料－

令和四年改訂版

GINZA KABUKIZA地下2階⇔1階 ES側面壁 <KABUKIアドボード>のご案内

「歌舞伎」人気を代表する松竹の歌舞伎公演劇場<歌舞伎座>。松竹が企画・製作する歌舞伎座公演の年間観客数は、100万人を超える!

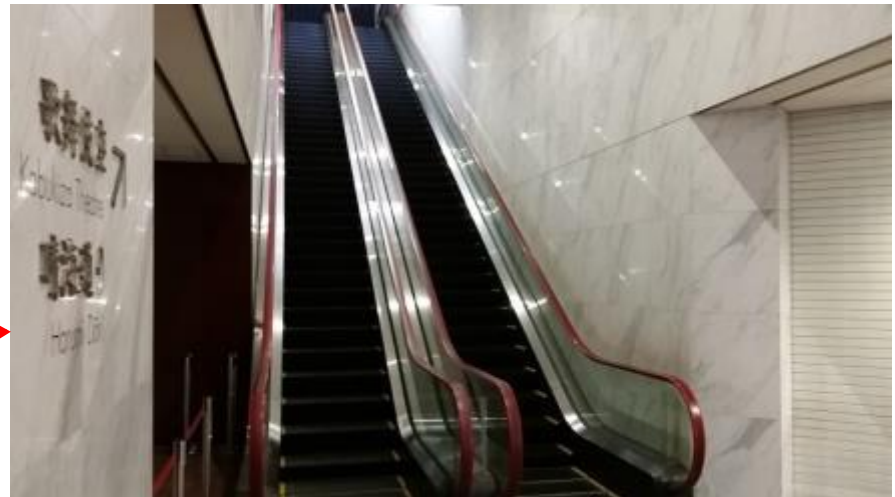
木挽町広場では、歌舞伎や和をテーマにした菓子、雑貨、小物、衣料、弁当などの小売店が展開し、国内外から大量の観光客が訪れます!



◇GINZA KABUKIZA <歌舞伎座>



◇歌舞伎座タワー <歌舞伎座> 地下2階 木挽町広場



◇エスカレーター上り・下り側面壁に新規広告媒体<KABUKIアドボード>設置

□媒体名:KABUKIアドボード

□場 所:東京都中央区銀座4-12-15 GINZA KABUKIZA
地下2階⇔1階エスカレーター上り・下りの側面壁

□媒体形態:ポスターフレーム ※照明器具無し

□広告面サイズ:B0ヨコ(H1,030mm×W1,456mm)

□広告枠:【1】上り側面壁B05面&下り側面壁B05面 計B0 10面
【2】上り側面壁B05面or下り側面壁B05面 各B0 5面×2枠

※歌舞伎座HP「KABUKIアドボード」ページ(<https://www.kabuki-za.co.jp/guide/adbord.html>)
にて代表ポスタービジュアルの掲出及び指定リンクの設定を対応いたします。

□広告物の入稿方法:掲出2週間前までに完全データのご支給

□広告料金:

【1】 2週間(前半:1日~15日/後半:16日~末日) 1,500,000円(税別)
※2月のみ前半:1日~14日/後半:15日~末日

1か月間(1日~月末日) 3,000,000円(税別)

3か月間(1日~3か月後末日) 9,000,000円(税別)

6か月間(1日~6か月後末日) 18,000,000円(税別)

12か月間(1日~12か月後末日) 36,000,000円(税別)

【2】 1か月間(1日~月末日) 1,500,000円(税別)

□制作費(1回):【1】210,000円(税別)／【2】130,000円(税別)

※内訳:B0ポスター10枚制作・取付・撤去費/B0ポスター5枚制作・取付・撤去費 <ネット料金>

● 広告審査:クライアント、デザインの審査有 ● 5面枠上りor下りは決定優先

▼サーキュレーション(通行量)

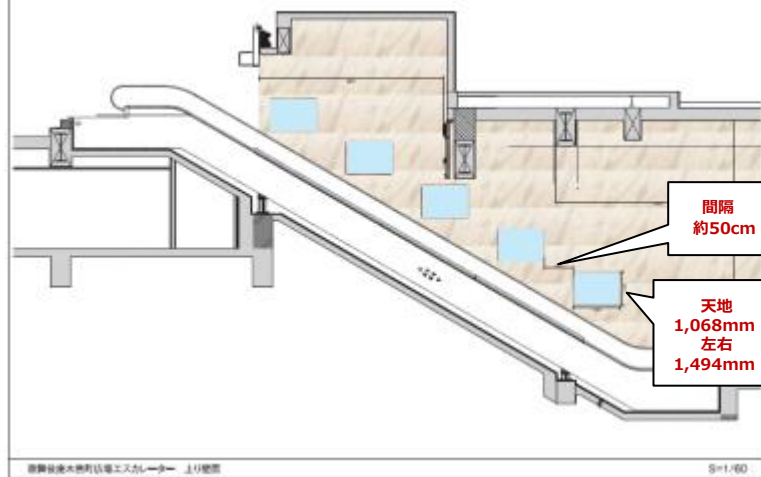
・歌舞伎座B2F木挽町広場/年間約480万人来場

・地下鉄「東銀座」駅/1日平均乗降者数約15万

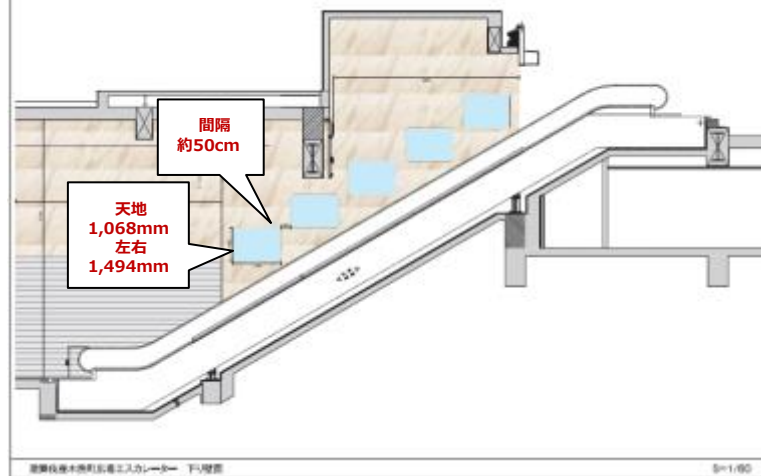
※東京メトロ日比谷線+都営地下鉄浅草線合計



B0ポスターフレーム配置図(上り壁面) ◇ES上り側面壁/5面掲出 ※上りES[乗り口~降り口]:約12.75m



B0ポスターフレーム配置図(下り壁面) ◇ES下り側面壁/5面掲出 ※下りES[乗り口~降り口]:約10.20m



KABUKIアドボード広告展開事例

①



②



③



④



⑤



●エスカレーター上り:B05面①②③④⑤掲出



●エスカレーター下り:B05面①②③④⑤掲出

2018年4月度(4/1~4/30)「KABUKIアドボード」掲出展開
 (上り5面) ドワンゴ「超歌舞伎~積思花顔競~」広告 / (下り5面) オカムラ 企業広告



●エスカレーター上り: B05面掲出



●エスカレーター下り: B05面掲出

●KABUKIアドボードデザイン:



ドワンゴ「超歌舞伎~積思花顔競~」

①⑤



③



②



④



オカムラ 企業広告

●1種デザイン▶上りB05面×下りB05面 掲出展開



●KABUKIアドボードデザイン:伊藤ハム「伝承」デザイン



●KABUKIアドボードデザイン: <銀座文明堂> 歌舞伎コラボ商品広告



●KABUKIアドボードデザイン:農口尚彦研究所 企業広告



広告規定

以下の各項目のいずれかに該当するものは、掲載不可とさせていただきます。

- ・公序良俗に反するもの
- ・商標や著作権を侵害するもの
- ・名誉毀損、プライバシーの侵害、信用毀損となるおそれがあるもの
- ・賭博、詐欺、ねずみ講、不良商法と見なされるもの
- ・虚偽、または誤認されるおそれのあるもの
- ・政治団体、宗教団体の活動及び勧誘に関するもの
- ・ポスターデザイン上へのQRコードの入れ込みは不可となります。

※その他業種での掲載可否に関しましては、随時お問合せをお願いいたします。

入稿規定

●ポスター製作サイズ：H1,030mm×W1,456mm (B0サイズ)

◎ポスターフレーム内寸：H1,017mm×W1,443mm

※絵柄や文字要素に関しては、フレームと被る可能性があるため、内寸(1017×1443)に収まるようご手配ください。

●B0ポスターフレーム(シルバー)外寸法：H1,068mm×W1,494mm

●データはイラストレーター形式(バージョンはどれでも可)

●画像データは可能であればリンク形式で元画像も一緒にご入稿お願いします。

・画像の解像度は原寸サイズ時で80～100dpi程度。

・画像をイラストレーターデータに埋め込みの状態でも出力は可能ですが、製作側で調整ができませんので元データなりの出力になります。

●入稿データのサイズは、画像解像度が問題無ければ縮小サイズのものでも可

企画：松竹株式会社/株式会社歌舞伎座

【お問合せ】

開発・販売会社：松竹ナビ株式会社 増岡・堀井

hidenori_masuoka@shochiku.co.jp/reiko_horii@shochiku.co.jp

104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル12階

TEL:03-5550-1730 FAX:03-5550-1646

木挽町広場 壁面バナージャック

□媒体名：歌舞伎座地下2階・木挽町広場 壁面バナージャック

□場 所：東京都中央区銀座4-12-15 GINZA KABUKIZA
地下2階⇔1階エスカレーター導線上の壁面上部

□媒体形態：大型バナー

□広告面サイズ：〈H3,000mm×W12,000mm〉

□広告枠：木挽町広場・左右両サイド壁面 2 面

※広告物の入稿方法:掲出の約2週間前までに入稿データご支給

□広告料金:

1カ月間(1日~月末日) 5,000,000円 (税別)

※記載は<グロス料金>

※3ヶ月、6か月などの長期掲出も可能ですので、お問合せください。

□制作費 (1回)： 2,200,000円 (税別)

※内訳：大型バナー制作・取付・撤去費<ネット料金>

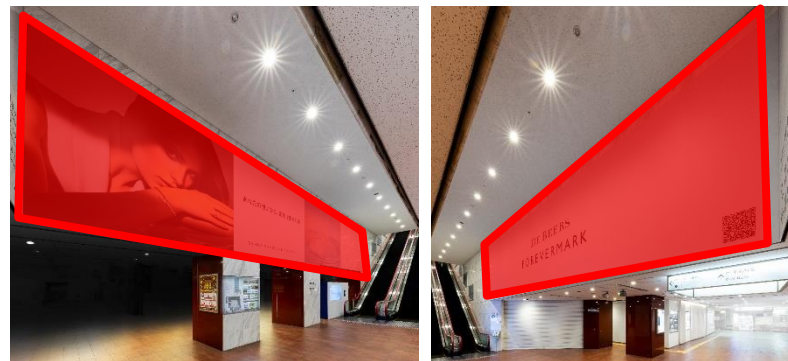
※再剥離インクジェット出力仕様

● 広告審査:クライアント、デザインの審査有 ● 決定優先

▼サーキュレーション(通行量)

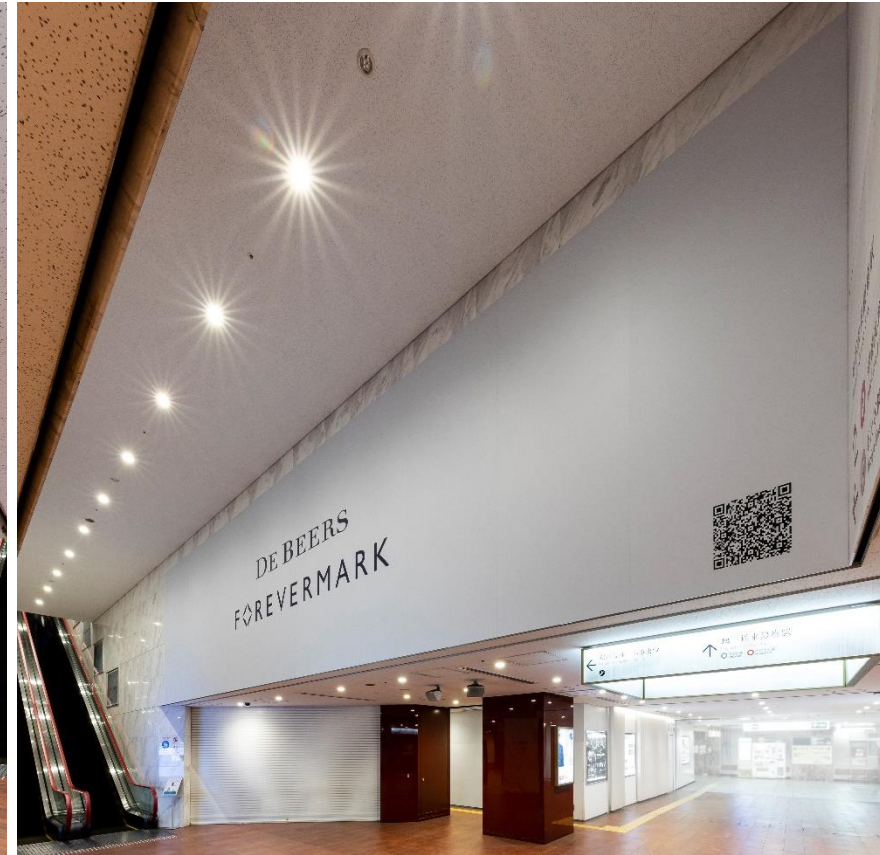
- ・歌舞伎座B2F木挽町広場/年間約480万人来場
- ・地下鉄「東銀座」駅/1日平均乗降者数約15万
- ※東京メトロ日比谷線+都営地下鉄浅草線合計

◇歌舞伎座B2F・木挽町広場



<1面あたり>
天地 3,000mm
左右 12,000mm
×両側の計2面分

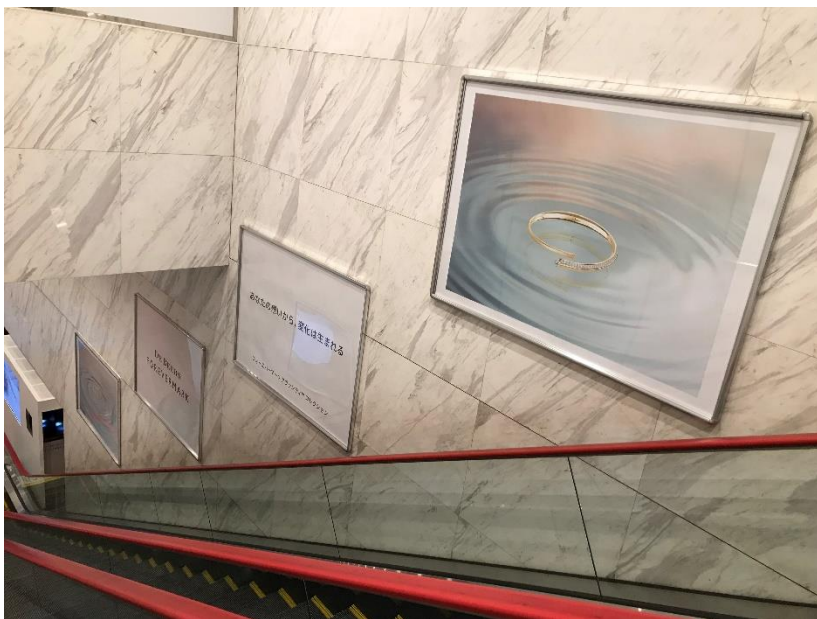
● 2種デザイン ▶ 木挽町広場エスカレーター壁面上部バナージャック 掲出展開



※歌舞伎座HPご参考：

<https://www.kabuki-za.co.jp/news/info/8338.html>

●バナージャックと合わせて実施したKABUKIアドボードデザイン



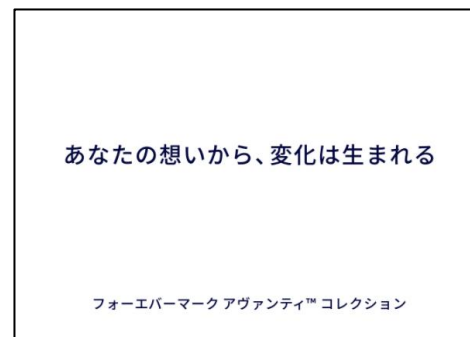
①



②



③



④



⑤



ご参考

●年間入場者数

来場者数 最大1,808名（総客席数）
2回公演 最大3,616名
公演1ヶ月当り 約90,000名（2回公演の場合）

※営業時間 通常 午前10時30分～午後9時頃
営業日 25日間（通常）

-参考-

新開場した2013年4月2014年3月（13年度）の実績
観客動員数：132万人
興行収入：146億円

※上記実績：「週刊ダイヤモンド」（2016年9月24日 37号）より

●年齢/男女別 割合

| 世代 | 割合 |
|------|-------|
| 10代 | 0.1% |
| 20代 | 1.8% |
| 30代 | 12.0% |
| 40代 | 22.5% |
| 50代 | 25.6% |
| 60代 | 21.8% |
| 70代～ | 16.2% |

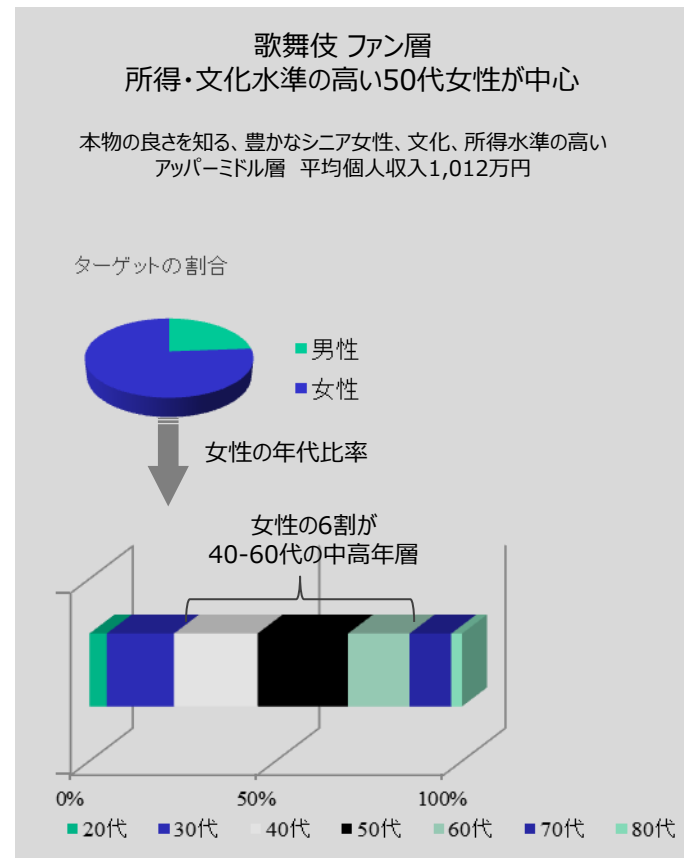
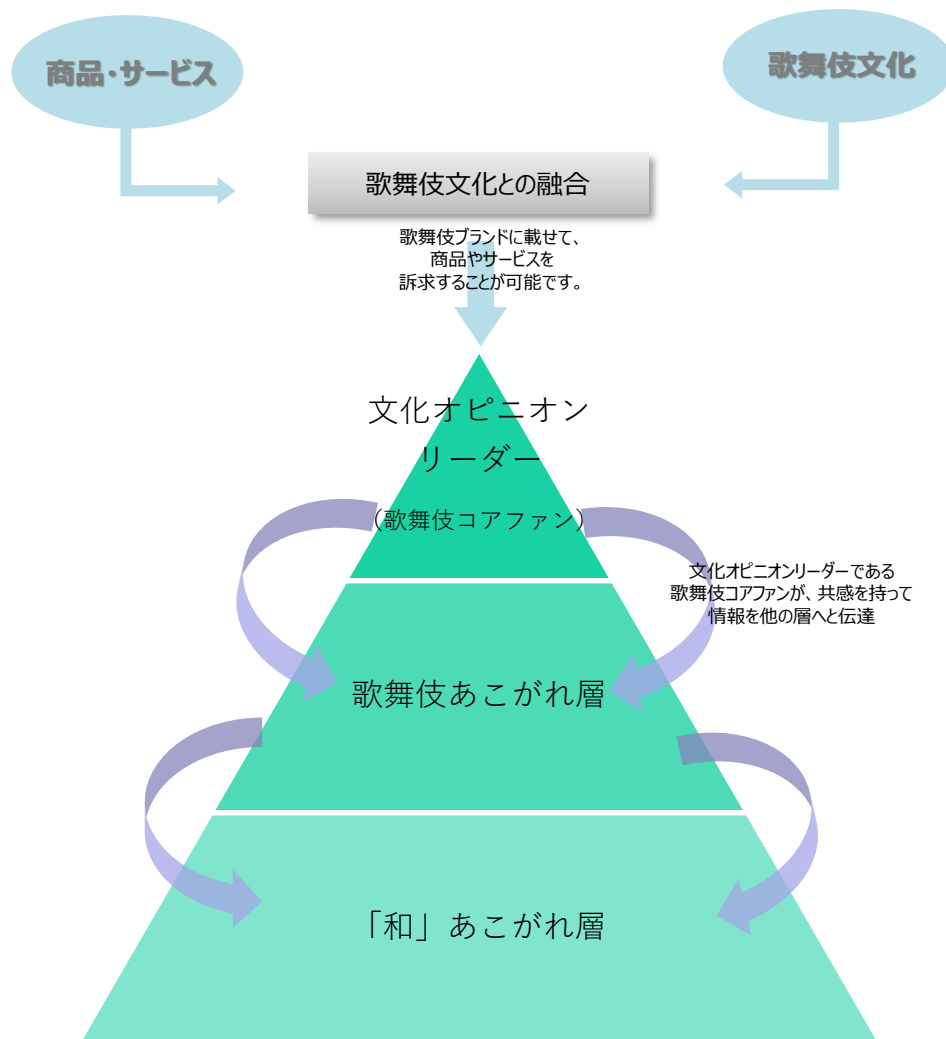
| 性別 | 割合 |
|----|-------|
| 男性 | 25.1% |
| 女性 | 74.9% |

※参考 松竹歌舞伎会
総会員数 約55,000名
(2019年実績)

※第4期歌舞伎座の実績と現在の歌舞伎会（歌舞伎ファンの会員組織）の会員構成より分析

- 日本を代表する伝統芸能・歌舞伎文化を軸にした情報発信とターゲット層

歌舞伎座を利用した空間メディアコンセプト



歌舞伎について

歌舞伎は、江戸時代初期から400年以上続く、我が国を代表する伝統芸能で、大衆芸能として支持され、常にその時代の流行を取り入れ発展してきました。

多くの名優を生み、現代では人間国宝を輩出し、その文化性も高く認められています。

坂田藤十郎



澤村田之助



尾上菊五郎



中村吉右衛門



坂東玉三郎



また、2005年には、ユネスコの世界無形文化遺産（Intangible Cultural Heritage）に登録され、世界的な芸術として高い評価を受けています。



松竹は、大正2年（1913年）から、歌舞伎の制作・興行に携わってきております。

多くの我が国の伝統芸能が国からの支援の下で運営されていますが、歌舞伎は一民間企業である松竹が一世紀以上に亘って、支えて参りました。

今後の歌舞伎の益々の発展の為、ご支援を頂きますようお願い申し上げます。



第一期歌舞伎座 ~明治22年11月開場

現在の歌舞伎座は、「第5期」となります。

歌舞伎座は、関東大震災や東京大空襲で、甚大な被害を受けました。



第二期歌舞伎座 ~明治44年11月開場

当時の松竹の経営陣の努力と皆様のご支援により蘇り、歌舞伎興行を継続して
くることができました。



第三期歌舞伎座 ~大正14年1月開場

「第5期」歌舞伎座の開場を東日本大震災からの我が国の復興のシンボルの
一つにすべく、銀座から、日本中だけでなく世界へ、日本人の誇りを届けていき
たいと考えています。



第四期歌舞伎座 ~昭和26年1月開場



第五期 歌舞伎座



新しい歌舞伎座のテーマは江戸時代から歌舞伎が積み重ねてきた歴史という「時間の継承」です。

劇場部分は瓦屋根、唐破風、欄干等の特徴的な意匠をはじめ、第四期歌舞伎座のデザインを踏襲し、劇場外装の鋳金物（かざりかなもの）や、劇場内部の舞台プロセニウムアーチなど使えるものになるべく再利用致しました。

劇場の背後に建つ高層ビル部分は、歌舞伎座を引き立てる背景となるような日本建築の捻子連子（ねりこれんじ）格子をモチーフとし、すっきりとした中に柔らかな陰影のある外装と致します。

低層に構える劇場と高層のオフィスビルの間には誰でも気軽に入れる「屋上庭園」を設けています。

また、歌舞伎座5階には、「歌舞伎座ギャラリー」を設け、歌舞伎の魅力を広く伝えていきます。

地下鉄東銀座駅と地下で直結しアクセスが格段向上致します。



建築家 隈研吾



劇場1階ロビー



客席



屋上庭園

2017年時、訪問国38ヶ国114都市以上の公演実績があります。

